

伝統と歩む、維持会奨学生の今

つなぐ



2025 年号

慶應義塾維持会
会報



TOPIC1: 維持会懇話会レポート	P01
TOPIC2: 決算報告(2024年度)	P04
TOPIC3: 事業報告	P05
維持会奨学生VOICE	P07
維持会奨学生からの感謝のメッセージ	P09

維持会紹介動画もぜひご覧ください。



TOPIC

1

維持会懇話会レポート

維持会懇話会について

慶應義塾維持会懇話会は、2008年より維持会常任委員と維持会奨学生の交流の場として始まりました。奨学生にとっては、維持会からの支援を実感でき感謝を直接伝えられる貴重な場となっております。

2025年度は、7月10日（木）に三田キャ

ンパスにて開催いたしました。参加者は70名を超え、賑やかな懇談の場になりました。

参加者が皆、笑顔で和やかに夢や志を話し、常任委員にとっても、奨学生にとっても実りある時間になりました。



維持会会長から奨学生へのメッセージ

本日の懇話会を楽しみにしておりました。参加して下さっている諸先輩方との忌憚のない意見交換を通じて、有意義な時間を過ごしていただければと思います。

私のモットーは「自我作古」です。現代は、あらゆる分野で急速な変化が起きており、新しいものに満ちています。皆さんも、こうした進化・発展の中で、社会へと羽ばたいていかれることでしょう。そのような時代においては、変化やイノベーション、新しい価値観に対して、どのように向き合うかが重要です。

常に新鮮な気持ちでそれらを受け止め、自らの考えが必ずしも古い価値観に縛られているわけではないことを意識しながら、柔軟に、そして本質を見極めながら活躍していただきたいと思います。

皆さんの今後のご活躍を心より願っております。



岩沙弘道 会長

塾長から奨学生へのメッセージ

慶應義塾維持会は、福澤先生が亡くなられた1901年に始まりました。福澤先生という大黒柱を失ったことで、慶應義塾の存続が危ぶまれましたが、卒業生を中心とする「社中」の、志の高い学生を迎え、教職員とともに教育・研究に励む場として慶應義塾を維持していこうという思いから設立されたのが維持会です。維持会奨学金は、まさにその理念に基づいて設けられています。

慶應義塾が最も大切にしているのは、志の高いやる気に満ちた学生に来てもらうことです。皆さんにはぜひ慶應義塾で学んでほしいという強い願いから、維持会が支援を行っているのです。その思いに応える存在として、皆さんは選ばれています。高い志を持ち、それを実現するために維持会奨学生として選

ばれたことに誇りを持ち、他の学生にも胸を張って伝えてほしいと思います。

今日ここにいらっしゃる先輩方も、それぞれの分野で活躍され、日本や慶應義塾を応援しながら、より良い社会の実現に貢献してこられた方々です。維持会の活動にも深く関わってくださっている、私たちが最も尊敬する社中の皆様です。

この貴重な機会を、ぜひ積極的に活用してください。



伊藤公平 塾長

維持会奨学生代表による御礼の挨拶 1

昨年に引き続き慶應義塾維持会の皆様からのご支援をいただき、誠にありがとうございます。また、このような維持会の皆様に直接感謝を伝える機会に参加することができてとても嬉しいです。

同席いただいた岩沙会長から様々な分野のお話が聞けてとてもためになりました。

私自身、皆様からのご支援のおかげで、よりいっそう勉学に励むことができています。2年生になって、より内容が専門化し、難しく感じられますが、自分で選択した学問を学んでいるという実感があり、日々楽しく学ば

とができています。

今後も奨学生としての自覚を忘れず学びを継続させ、自己実現を果たしていきたいです。

最後になりますが、改めて維持会の皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。日々、維持会の皆様への感謝を忘れず、頑張っていきます。



愛知県出身 理工学部2年

維持会奨学生代表による御礼の挨拶 2

この度は慶應義塾維持会の奨学生として採用していただき、心より厚く御礼申し上げます。私は西アフリカの父の国、ガーナで生まれ、13歳の時に日本に生まれました。母と兄弟3人のひとり親家庭で育った私は、母の故郷、札幌で中学・高校時代を過ごしました。母は期限付きの仕事を繋いで必死に家計を支えてくれましたが、私達兄弟3人は未だ学生でまとまった収入がなく、家計は厳しく、私自身も経済的な不安を拭い去るためアルバイトをしています。そのような中、維持会の奨学生として採用され、私のそうした心配は大きく拭い去られ、現在は穏やかな心で、学業に専念することが出来るようになりました。ここにいる奨学生のみなが同じように不安から救われ、恩恵を感じていることと思います。私達の可能性を信じてくださり、本当にありがとうございます。このように、極めて充実した、学内で学生を支える独自の奨学金が、卒業生との繋がりによって成り立っているのも、慶應義塾大学の大きな強みであると思います。

私がガーナにいた幼い頃、たくさんの慶應義塾大学の卒業生たちが、現地で国際協力に携わっていたのを今でも覚えています。私も将来的には、日本と世界を繋ぐ架け橋として、国際社会に貢献し、人々の役に立ちたいと思います。この夢の実現に向けて、皆様の期待を力に変えて、精一杯頑張ることを約束します。

本日、懇親会にて、維持会の皆様とお話することができて、皆様から私達奨学生への熱い期待と励ましを強く感じました。この励ましを胸に、私達奨学生はこれから夢に向かってより一層学業に励みます。そして、いつか私達奨学生も維持会の皆様のように、困窮している人々の可能性を信じて、手を差し伸べられるような人間になれるように精一杯努めます。

北海道出身 総合政策学部2年



TOPIC 2 決算報告(2024年度)

現在、維持会会員数は45,000名を超え、会員の皆様からのご厚志による維持会基金は、2024年度末には47億円を超えました。本年度も維持会の趣旨にご賛同賜り、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

収入

寄付金	377,014,776円
維持会基金運用収入	89,576,180円
(1) 収入合計	466,590,956円

新規入会 285件
継続 5,366件
計 5,651件
のご支援を賜りました。誠にありがとうございました。

支出

維持会事業費	ポストコロナ教育・研究支援事業	140,936,140円
	維持会奨学金(135名採用)	84,000,000円
	維持会国際交流奨学金(6名採用)	3,000,000円
管理経費	キャンパス施設整備資金	2,576,180円
	諸経費	20,634,861円
(2) 支出合計	251,147,181円	

2024年度に「維持会国際交流奨学金」を創設しました。

法人・団体からのご寄付は、維持会基金への直接寄付としてお受け入れをさせていただき、基金に組入れさせていただきました。

維持会基金残高

収支差額(1)-(2)	215,443,775円
維持会基金への直接寄付	10,195,649円
(3) 年度末維持会基金残高	4,704,448,438円

(2025年3月31日付)

2024年度末は47億円まで増えました!



維持会国際交流奨学金受給者からの声

法学部2年(短期海外研修プログラム 2024年度パリ政治学院春季講座参加)

政治・経済・歴史・外交など、多角的な視点からEUについて学んだこの1ヶ月は、非常に貴重な経験でした。EU加盟国であるフランスに身を置き、各分野の専門家であり、同時にEU市民でもある教授から直接学ぶことができたことは、日本の教室では得られない深い学びでした。EUが「超国家的な平和への試み」であるという視点をえたことで、加盟国間の協力と対立のバランス、そしてそのダイナミックな政治的展開への関心が一層深まりました。今後もEUをはじめ、世界の政治・経済の動向に注目し、課題解決に向けた取り組みを学び続けていきたいです。



TOPIC 3 事業報告

維持会事業は、維持会基金の運用益および皆様からの温かいご厚志に支えられ、多岐にわたる活動を展開しております。具体的には、地方出身者を中心とした愛塾心に富んだ優秀な塾生の経済的負担を軽減する維持会奨学金をはじめ、教育・研究の振興、施設の整備・拡充など、様々な支援を行っています。

維持会奨学金を中心とした奨学支援事業

- 維持会奨学金(2007年度～)
- 維持会国際交流奨学金(2024年度～)
- 東日本大震災により被災した塾生の授業料減免の資金
- 東日本大震災により被災した塾生への奨学金
- 障害のある学生への学業奨励金

研究支援、留学生支援などの教育・研究振興事業

- 国際センター留学生奨学金
- アントレプレナー支援金(ベンチャー支援)
- 創立150年記念講演会「学問のすゝめ21」への財政支援
- 大学院博士課程学生研究支援プログラムへの支援
- 「福澤諭吉記念文明塾」への財政支援

都道府県別

維持会奨学生採用実績 (2007～2025年度累積) 採用実績の詳細はこちら →



経済的な理由により修学困難な地方出身の優秀な学生を中心に、返済不要の奨学金をこれまで1,940名に給付し、日本全国また海外出身者にも広く学びの機会を提供しています。2025年度は135名の塾生を支援しました。

北海道	82名	埼玉県	57名	岐阜県	41名	鳥取県	11名	佐賀県	10名
青森県	30名	千葉県	44名	静岡県	73名	島根県	15名	長崎県	11名
岩手県	11名	東京都	167名	愛知県	95名	岡山県	37名	熊本県	37名
宮城県	33名	神奈川県	144名	三重県	24名	広島県	40名	大分県	11名
秋田県	13名	新潟県	51名	滋賀県	5名	山口県	26名	宮崎県	13名
山形県	13名	富山県	30名	京都府	37名	徳島県	11名	鹿児島県	43名
福島県	34名	石川県	13名	大阪府	76名	香川県	15名	沖縄県	38名
茨城県	80名	福井県	20名	兵庫県	66名	愛媛県	23名	海外	28名
栃木県	54名	山梨県	21名	奈良県	33名	高知県	27名		
群馬県	66名	長野県	66名	和歌山県	18名	福岡県	47名		

キャンパス整備 ～快適な学生生活のために～

三田キャンパス



- 中庭大銀杏ベンチ
- 第一校舎前テーブルセット
- 福澤公園ベンチ
- 福澤公園テーブルセット
- 南館2階外テーブルセット
- 福澤公園等整備・照明設置
- 防犯監視用カメラ設置
- 中庭掲示板改修

塾生に憩いの場を提供しています。

日吉キャンパス

- 自習室改修
- 図書館内サイン工事



湘南藤沢キャンパス

- 教室AV機器設置

芝共立キャンパス

- AED増設

矢上キャンパス

- 屋外椅子・テーブル設置
- 外灯設置
- 屋外塾旗用ポール設置



一貫教育校

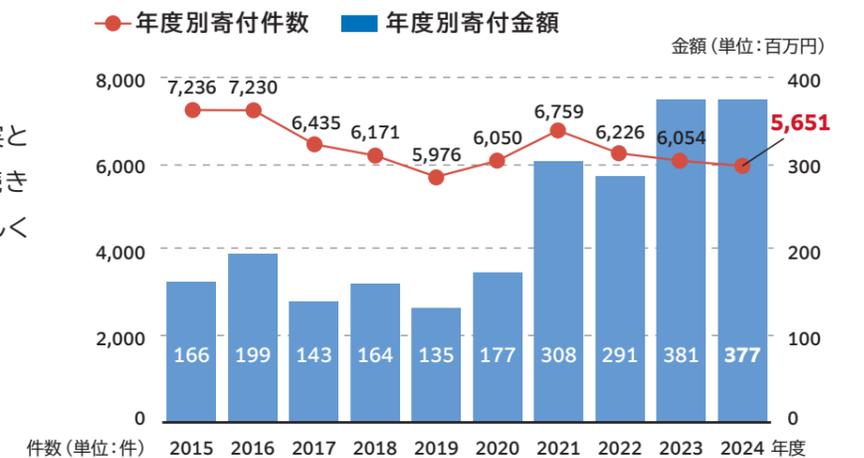
- 横浜初等部楽器・学校用テント購入
- 普通部正門通路の床タイル貼り替え工事
- 中等部・志木高・女子高のAED増設



グラフで見る

維持会の状況

今後の更なる支援体制の充実と拡充を実現するため、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。





維持会奨学生 VOICE

未来への希望と挑戦。塾生たちの情熱と努力が、明日の社会を形作ります。それぞれの個性が輝く維持会奨学生の声をお届けします。



Q 維持会奨学生として思うことは？

ご支援いただけることを非常に光栄に思います。今私が皆様に支えていただいているように、将来は自分自身も後輩たちを支え、慶應義塾での学びを社会に還元できるよう、より一層努力していく所存です。今後も奨学生としての自覚を胸に、恵まれた環境を最大限に活かしながら、常に自分が成し遂げたいこと、そして慶應義塾や社会の中で果たすべき役割とは何かを問い続け、学生生活を全力で駆け抜けてまいります。

文学部2年 愛知県出身

今年度、慶應義塾維持会奨学生に採用していただいたことを、大変光栄に思います。学業に対して金銭的な不安がありましたが、維持会会員の皆様のご支援のおかげで多くの時間を勉学に充てることができるようになり、非常に充実した、心の底から楽しいと思える学生生活を送らせていただいております。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。奨学生の名に恥じぬように、そして将来社会に貢献できる人間になれるよう、一層邁進して参ります。

法学部2年 北海道出身

Q 一番興味のある授業は？

大学院の授業を先取りして受講しています。英語で講義が行われるため、英語力向上という意味でも全ての授業が刺激的です。中でも特に、機械学習に関する機械知能という講義に最も関心があります。この講義では、英語のネイティブ話者との積極的なディスカッションがあり、技術的話題に関して英語で討論するという経験を積むことができる点がユニークで、意欲的に取り組んでいます。

理工学部4年 長野県出身

機能生理学や代謝生化学という授業がとても興味深いです。機能生理学は生命現象の仕組みについて学ぶ科目です。また、それらの異常がどのような疾患へと結びつくのかも学びます。薬が効く対象である生命現象を分子レベルで理解していくことで、薬が効く仕組みが少しずつ解き明かされ、とても楽しいです。薬の作用機序を学ぶ際の土台となる知識なので、しっかりと理解して吸収したいです。

薬学部2年 東京都出身

Q 今後、学校生活でチャレンジしたいことは？

最もチャレンジしたいのは、ゼミでの研究を深め、その成果を社会に発信することです。ゼミではマーケットデザインやゲーム理論を研究しており、これらは実社会の意思決定やビジネス戦略に応用できる非常に興味深い分野です。今後は、輪読やグループディスカッションを通じて、ビジネス課題に応用する力を養い、研究成果を積極的に発表し、自身の専門性を高めていきたいと考えています。

経済学部3年 新潟県出身

今夏のケンブリッジ大学での短期留学で専攻予定の「国際経営」について、英語で自己表現する力を高めることです。現地の文化や企業についての見識を深め、自分の考えを隠すことなく堂々と伝えたいと思います。最終的には、ケンブリッジ大学での学びや現地の学生との共同研究で得た知見や経験を活かし、「日本企業の海外展開における成功要因の分析」という卒業論文を完遂したいと思います。

商学部4年 島根県出身

Q 卒業後の進路・将来の夢は？

将来的には自身で設立した非営利団体「MORE FREE」の活動をライフワークに、10年後には都内に10軒のシェアハウスを展開したいです。さらに30歳までに独立し、地方の女性が自分らしく、前向きに働ける社会を実現するためのサービスを立ち上げたいという夢があります。まずは社会の中で課題解決に向けたスキルを磨き、仲間と共にビジョンを形にしていきたいです。原点となる「誰かの選択肢を狭めない社会」を目指して、一歩ずつ歩んでいきます。

文学部4年 大阪府出身

In the long term, I wish to be involved in projects related to healthcare technologies that improve human health and society's quality of life. After graduation, I first want to gain work experience in an IT company in Japan. This is because modern healthcare solutions heavily rely on information technology. Through this occupation, I wish to build a strong foundational knowledge of programming, data analysis, software integration, etc. Thereafter, I am considering studying for a masters degree in either bioengineering, bioconsultancy, or bioinformatics. After all, I am very interested in working in technological research and development for a company in the health sector and most jobs would require me to have extensive research experience as enabled by a masters degree in those fields.

(医療技術で人々の健康に貢献することを目指し、IT企業で経験を積んだ後、バイオ系分野で修士課程に進学したいと考えています。)

環境情報学部2年 海外出身



維持会奨学生からの感謝のメッセージ

※イラストはイメージです。

維持会奨学生からの感謝のメッセージは
基金室Webサイトをご覧ください→



Message

自らを育ててくれた地域社会に貢献したい

文学部2年 茨城県出身

文学部社会学専攻に所属し、現在は研究法の基礎を学んでいます。茨城県の農村部で育った経験から、私を育ててくれた地域社会に愛着を抱くとともに、高齢化や介護など、地域が直面している問題についても身をもって体感してきました。進路選択の際には、家族が営む農業を継いで地域や家族のために尽くすか、自分自身の関心を追求するかで葛藤がありました。そうした中、ある講義で、社会学を学ぶ際には、ある地域や個人に固有なものに思われる生きる中での「息苦しさ」であっても、社会全体との関係性のなかで捉えることが重要であるという「社会学的想像力」という考え方について学びました。この経験を通じて、地域社会の実情を客

観的に捉えることのできる技量を身に着けたいと思うに至りました。

自らを育ててくれた地域社会に貢献したいという思いをどのような形で実現できるか明確な答えは未だ出ていません。今年度は一層学業に励むとともに、多様な課外活動に挑戦する中で、進路について真剣に向き合いたいと考えております。今後も、慶應義塾維持会の皆様をはじめ、私の学びを支えてくださる全ての方々への感謝を忘れず、「公共の発展」に尽くすことのできる者となれるよう、努力を続けていく所存です。



化学メーカーに就職し、社会に貢献できる研究・開発を行いたい

理工学部3年 福島県出身

現在化学科に所属しており、将来の研究に向けて専門的な勉強に取り組んでいます。特に有機化学の分野に魅力を感じていて、反応規則や立体障害を考えながらどういった反応物が生成されるかを導き出すことや、反応を起こす順番や組み合わせを変えて合成機構を考えることにより多様な物質を作り出すことについて学ぶのが非常に楽しいです。そのため、4年生からは有機化学について研究したいと考えております。また、志の高い仲間たちにも囲まれ、互いに切磋琢磨し合って成長していけることに日々喜びを感じています。大学院修了後は化学メーカーに就職し、社会に貢献できるような研究・開発を行いたいと考えており、化学に

ついての知識を深めていきたいと思っています。
海外の研究者とも円滑なコミュニケーションを行うために、英語の勉強にも取り組んでいきたいと考えております。将来研究を進めていく中で、英語の能力を高めるために授業や TOEIC、TOEFL などの勉強を通してビジネス英語やアカデミックな英語について学びを深めていきたいです。

奨学生として維持会の皆様の期待に応えられるよう、日々の勉強に励み、得た学びを社会に還元できるようになりたいと思います。



エアラインパイロットになりたい

法学部1年 大分県出身

福澤諭吉先生の故郷である大分県で学生生活を過ごしたため、慶應義塾という名前を幼い頃から耳にし、塾員の方々が日本国内のみならず世界中のさまざまな業界・分野でご活躍されていることを知り、憧れを抱いていました。

私は塾生生活を通して、興味を持ったことには積極的に挑戦したいと考えています。私は幼い頃から気象学に興味があり、独学で学んでいた時期もありました。そのため大学在学中に気象予報士試験合格を目指したいと考えています。法学部では一般教養科目として物理学の授業も展開されているため、それらの授業から少しでも多くの知識を得ていきたいと思いを。

将来、エアラインパイロットになりたいと考えています。そのため英語はもちろんのこと、第二外国語のスペイン語の継続的な学習にも努めたいと思っています。特に英語は国内外のコミュニケーションツールとして必須の存在であり、さらなる学習が必要であると感じています。

このように自分の目標に向かって進んでいくことができるのは慶應義塾維持会を支えている維持会員の方々のおかげです。日々感謝の気持ちを忘れずに、これからの塾生生活をより充実したものにしてまいります。



病院薬剤師としてチーム医療に携わりたい

薬学部3年 山口県出身

日々の基礎実習を通して、実験する上での正確性や再現性という視点を学び、独立自尊の精神のもと、医療人としての自覚と責任を痛感する日々を過ごしております。また、昨年度から所属している部活動の副代表に任命していただき、イベントの運営や広報活動に特に力を入れて取り組んでいます。今後予定されている複数の学祭への出演においても、全員が満足して円滑に活動できるように日々模索しております。

将来は、薬剤師免許取得後に、病院薬剤師としてチーム医療に携わりたいと考えています。小学生の時から変わらず抱いてきた夢を実現するために、一年次から積み重ねてきた知識を

さらに定着させ、実践する能力へと応用できるよう、さらに自己研鑽に励んでまいります。

人間らしい医療にこだわり、将来的には専門薬剤師や認定薬剤師の資格取得、さらには地域医療での健康増進も視野に入れ、今できることに全力で取り組んでいきたいと思っています。

慶應義塾維持会の奨学生に選んでいただいたことに改めて御礼申し上げます。この御恩を忘れずに、今後も慶應義塾維持会奨学生の名に恥じぬよう努力を続け、慶應義塾、社会の発展に貢献できるよう精進していく所存です。



維持会員について

塾員（卒業生）をはじめ、保証人の方、一般の方などでもご入会いただけます。会員には普通会員と終身会員があります。

※公職選挙法等により寄付が禁止されている方は、寄付募集の対象外とさせていただきます。

終身会員

30万円以上を一括で
支援いただける方

すでに終身会員の方からの追加のご寄付もありがたく賜っております。

普通会員

1口1万円からのご寄付で
継続的に支援いただける方

複数年分まとめてのご寄付も可能です。

入会特典1 『三田評論』へのご芳名掲載※・冊子の贈呈 [全員] ※掲載可の方のみ

義塾の機関誌『三田評論』にご芳名を掲載※し、ご加入期間中に冊子を贈呈します。

入会特典2 記念品の贈呈 [新規終身会員の方のみ]

維持会オリジナル記念品（クリスタル時計：2025年現在）を贈呈します。



維持会へのご寄付方法

個人

普通会員の皆様におかれましては、ご加入期間の終了月の2か月前を目安に維持会から所定振込用紙をお送りいたします。継続的なご支援を賜れますと幸いです。

インターネット決済

クレジットカード決済、インターネットバンキング決済（ペイジー）をご利用いただけます。クレジットカード決済の場合、毎年自動での決済も可能です。お申込画面で「毎年寄付する」をご選択ください。海外からのお申込みはクレジットカード決済をご利用ください。

決済ページはこちら



おすすめ

金融機関振込

所定振込用紙にご記入のうえ、金融機関の窓口でお振り込みください。

預金口座振替

毎年、一定金額（1万円以上）をご寄付いただける方が対象です。

法人・団体

維持会基金へのご寄付としてお受け入れをさせていただきます。必要書類をご請求ください。



慶應義塾維持会 会報 No.18 つなぐ 2025年号

慶應義塾 維持会

<https://kikin.keio.ac.jp/ijikai/>



〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 / TEL 03-5427-1545（平日10:00-15:00）

E-mail: kikin-box@adst.keio.ac.jp

慶應義塾維持会 会報『つなぐ』（旧:Newsletter）は基金室Webサイトでバックナンバーも含めてご覧いただけます。

発行月 2025年9月

発行 慶應義塾基金室 維持会担当

